

第二十六篇

原文部分：

「昆虫食」のすすめ

「虫酸が走る」という表現について、いささか勘違いをしていた。体をムカデが這うような不快感を思い描いていたが、虫酸とは胃から上がってくる酸っぱい液だという。つまり胸がむかむかするほどの不快感、が正しいようだ。

昆虫を将来の食糧にできないか——という報告書をこのほど国連の機関がまとめた。現在70億人の世界の人口は、2050年までに90億人を超すと見込まれる。爆発的に増える人類を養う一手として、「昆虫食」に目を向けるよう促す内容だ。

虫酸が走る方もおられようか。だが世界ではアジアやアフリカ、中南米などの20億人が虫を食べ、1900種以上が胃袋に収まっている。報告書によれば栄養たっぷり、健康的な食用資源という。

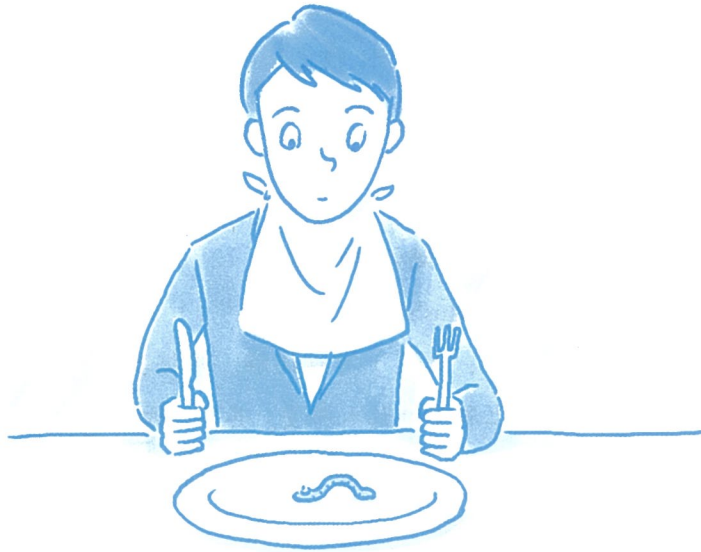
そういえば先の週刊朝日で、日本料理の道場六三郎さんが昆虫料理を作っていた。「焼き竹の子とカミキリムシ幼虫の素焼き」など6品、見た目は乙だ。「食材として十分使える」と

名人は合点したようである。

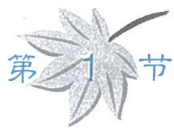
江戸期の文献を見ても、例えばイナゴを「あぶって食べれば甘美で小蝦のよう」とほめている。その佃煮あたりが入門編か。イモムシや甲虫は、さすがに少々ハードルが高い。

虫ではないが、「はじめて海鼠を食い出せる人はその胆力において敬すべく」と書いたのは夏目漱石だった。飢えのためか、好奇心か、ご先祖様はなんでも食べてきた。いま農地は疲弊し、海は枯渇が心配されている。人類は虫に救われるのだろうか。ありがたいような、怖いような。

2013年5月18日



学习部分：



「昆虫食」のすすめ

「虫酸が走る」という表現について、いささか勘違いをしていた①。体をムカデが這うような不快感を思い描いていたが、虫酸とは胃から上がってくる酸っぱい液だという②。つまり胸がむかむかするほどの不快感、が正しいそうだ③。

昆虫を将来の食糧にできないか——という報告書をこのほど国連の機関がまとめた。現在70億人の世界の人口は、2050年までに90億人を超すと見込まれる。爆発的に増える人類を養う一手として、「昆虫食」に目を向けるよう促す内容だ。



译文

建议试吃昆虫

原来，我对“Mushizu ga hashiru”（「虫酸が走る」）这一惯用语（直译：表达）有点误解。根据我的想象，那就像百足虫在身上爬那样让人难受。其实，所谓“Mushizu”（「虫酸」）是指从胃里冒上来的酸液，也就是说，正确的解释应该是“恶心得让人难受”。

最近，联合国的有关机构汇总了一份题为《昆虫能否



成为未来粮食》的报告。目前，全世界有70亿人口，预计到2050年将超过90亿。作为养活呈爆炸式增长态势的人类的一种手段，有必要促使人们把目光转向“吃昆虫”，这是此份报告的（主要）内容。

- ① **注解**「虫酸が走る」为惯用语，一般多写作「虫唾が走る」，意思是“非常讨厌”、“讨厌得让人恶心”，如「あいつの声を聞いただけで虫唾（虫酸）が走る」（一听见那家伙说话就恶心）。（「虫唾（虫酸）」指胃酸、酸水。）另外，这句的主语是“我”，即本文的作者。此句是说，他原来对这一惯用语有误解，因为他是从字面上的“虫”字去理解的。实际上，此惯用语与“虫”没有关系，而与“胃酸”有关。
- ② **注解** 这句的前半部分讲“我”原来对「虫酸が走る」的自我理解，后半句讲的则是「虫酸」的实际意思。
- ③ **注解** 「胸がむかむかする」指恶心。直译的话就是“胸部犯恶心”。



生词&例句

【いささか】^{いささ}【些か】稍微；一点；一些。

<例句> ●いささか驚いた。⇒ 稍微吃了一惊。

●いささか困ったことが起こった。⇒ 发生了点为难的事。

【勘違い】^{かんちが} 搞错；误会；误解。

<例句> ●それはあなたの勘違いだ。⇒ 那是你搞错了。

- とんだ勘違いをする。⇒ 发生意想不到的误会。

【ムカデ】^{むかで}【百足】蜈蚣；百足虫；百脚虫。

【這う】^は爬；爬行；匍匐。

<例句> ●赤ちゃんが這うようになった。⇒ 婴儿会爬了。

- 毛虫がはっていて気持ちが悪い。⇒ 毛毛虫爬来爬去，真恶心。

【思い描く】^{おもえが}在心里描绘；想象。

<例句> ●10年後の自分を思い描く。⇒ 想象十年后的自己。

- 結婚後の楽しい生活を思い描く。⇒ 在心里描绘着婚后的快乐生活。

【むかむか】恶心；要吐；作呕。

<例句> ●胸がむかむかする。⇒ 恶心。

- 酒に酔ってむかむかする。⇒ 醉得要吐。

【このほど】(1) 最近。(2) 这次；这回。

<例句> ●このほど帰国したばかりです。⇒ 最近刚回国。

- 前は失敗したが、このほどはうまく成功した。
⇒ 上一次失败了，可这一次搞得很成功。

【まとめる】^{まと}【纏める】归纳；整理；总结。

<例句> ●授業の要点をまとめる。⇒ 归纳上课的要点。

- レポートをまとめて出す。⇒ 把报告整理出来交上去。

【見込む】^{みこ}预料；预计；估计。

<例句> ●そこまで見込めなかった。⇒ 没估计到那一步。

- ドル高を見込んで外貨預金をする。⇒ 预料美元会升值而存外币。

【^{いって}一手】(1) 单独；独自。(2) 一手儿；一着儿；一个方法。

【注意】此词还有另一个读音：「ひとて」，意思有所不同。

<例句> ● 一手に利益を占める。⇒ 独占利益。

● 押しの一手で勝つ。⇒ 坚持凭这一着儿取胜。

第 2 节

虫酸^{むしづ}が走る^{はし}方もおられ^{かた}ようか④。だが世界^{せかい}ではアジアやアフリカ^{ちゆうなんべい}、中南米などの20億人^{おくにん}が虫^{むし}を食^たべ、1900種以上^{しゆいじよう}が胃袋^{いぶくろ}に収^{おさ}まっている。報告書^{ほうこくしょ}によれば栄養^{えいよう}たっぷり、健康的な^{けんこうてき}食用資源^{しよくようしげん}という。

そういえば先^{さき}の週刊朝日^{しゅうかんあさひ}で、日本料理^{にほんりょうり}の道場六三郎^{みちぼろくさぶろう}さんが昆虫料理^{こんちゅうりょうり}を作^{つく}っていた⑤。「焼き竹の子^{やたけこ}とカミキリムシ^こ幼虫^{ようちゆう}の素焼き^{すや}」など6品^{しな}、見た目は乙^{おつ}だ⑥。「食材^{しよくざい}として十分^{じゅうぶん}使える^{つか}」と名人^{めいじん}は合点^{がてん}したようである⑦。

译文

也许有人（对此）会犯恶心想吧，但是，在亚洲、非洲以及中南美洲等世界各地有20亿人在食用昆虫，摄入胃囊的种类多达1900种以上。据（上述）报告称，这是一个既营养丰富又健康的食用资源。

这么说来，《周刊朝日》杂志不久前还刊登过有关日本料理师道场六三郎（1931-）先生烹饪昆虫料理的报道，他做了“双烤竹笋与天牛幼虫”等6道菜，外观看上去别

具一格。道场名厨对此予以首肯，说：“（昆虫）足可作为食材”。

④ **注解**「おられようか」是「おる」的被动态，为轻微的敬语形式。所谓“（对此）犯恶心”，是指吃昆虫一事。

⑤ **注解**「週刊朝日」是杂志的名字。顾名思义，为周刊，由朝日新闻社出版。

⑥ **注解**「焼き竹の子とカミキリムシ幼虫の素焼き」是一道菜的菜名。如理解为两道菜就不对了。

⑦ **注解**「名人」是指日本料理师道场六三郎。注意日语的「名人」与汉语的“名人”为同形异义词。日语的「名人」指能手、专家、名家；而汉语的“名人”仅指有名的人。译句中的所谓“对此予以首肯”是指对用昆虫做菜予以肯定。



生词&例句

【おる】^お【居る】在；有。

<例句> ● 部屋にはだれもおりません。⇒ 屋里没有人。

● 3時までは会社におりますが、それ以降は外出して
しまいます。⇒ 三点前在公司，之后要出去。

【収まる】^{おさ}【納まる】^{おさ} 收纳；容纳。

<例句> ● 食べ物が胃に収まる。⇒ 把食物吃进胃里。

● ひと部屋にちょうど5人ずつ収まった。⇒ 每个房
间正好容纳了五个人。

【たっぷり】满；多。



<例句> ●興味たっぷりだ。⇒ 満有兴趣。

●コーヒーに砂糖をたっぷり入れる。⇒ 咖啡里多放点糖。

【カミキリムシ】(昆虫)天牛, 又俗称锯树郎。

【素焼き^{すや}】(1) 不挂釉子烧制的陶器。(2) 不加佐料干烤的鱼、肉等。

<例句> ●素焼きのなべ。⇒ 砂锅。

●ウナギの素焼き。⇒ 干烤鳗鱼。烤原味鳗鱼。

【乙^{おつ}】(1)(名词)乙。(2)(形容动词)别致; 别具一格。

<例句> ●乙な料理。⇒ 别具风味的菜肴。

●乙なことを言うね。⇒ 说得挺风趣嘛。

【合点^{がてん}】(1) 理解; 领会。(2) 认可; 首肯。

<例句> ●ひとり合点。⇒ 自以为理解。个人误解。

●合点がいかない。⇒ 不能理解。莫名其妙。

第 3 节

江戸期^{えどき}の文献^{ぶんげん}を見ても、例えばイナゴを「あぶって食べれば甘美^{かんび}で小蝦^{こえび}のよう」とほめている。その佃煮^{つくだに}あたりが入門^{もんへん}編か。イモムシ^{こうちゅう}や甲虫^{こうちゅう}は、さすがに少々ハードル^{しょうしょう}が高い^{たか}⑧。

虫^{むし}ではないが、「はじめて海鼠^{なまこ}を食い出せる人はその胆力^{いた}において敬す^{たんりよく}べく」と書いたのは夏目漱石^{なつめ そうせき}だった⑨。餓え^うのためか、好奇心^{こうきしん}か、ご先祖様^{せんぞさま}はなんでも食^たべてきた。いま農^{のう}

地は疲弊し、海は枯渇が心配されている⑩。人類は虫に救われるのだろうか。ありがたいような、怖いような⑪。



译文

只要翻阅一下江户时期（1603-1867）的文献就会发现如此表示赞许的描述：比如把蝗虫“稍烤一下食用，味道甘美，如吃小虾”。把蝗虫做成熬煮菜之类的可算是“初级烹饪法”吧。至于青虫、甲虫等，“门槛”无疑高了一点——这不是人人都能接受的。

夏目漱石（1867-1916）曾写道：“第一个（直译：开始）吃海参的人，其胆量值得敬佩”——虽然这里提到的不是昆虫。也许是因为饥饿，也许是出于好奇，我们的祖先什么都吃。如今，农田、海洋渐渐枯竭，为此，人们忧心忡忡。人类需要通过吃昆虫才能得到拯救吗？我感到这既是一件令人庆幸，同时又令人恐惧的事情。

⑧ **注解** 前一句是说，如果是第一次吃蝗虫的话，那最好是先把它做成熬煮菜（「佃煮」），这样既容易做，大家也容易接受（口味略甜），是为初级烹饪法（「入門編」）。后一句是说，像青虫、甲虫等则不太容易让人接受（「少々ハードルが高い」）。这两句均有意译成分。

⑨ **注解** 夏目漱石此句的原话是：「始めて海鼠を食い出せる人は其胆力に於いて敬すべく、始めて河豚を喫せる漢は其勇氣に於いて重んずべし。」（对于第一个吃海参的人，其胆量值得敬佩；对于第一个吃河豚的人，其勇



气值得敬重。)注意「食^く出^{いだ}せる」的读音为「くいいだせる」。「食^く出^{いだ}せる」为可能态,它的原形是「食^く出^{いだ}す」。「出^{いだ}す」或「出^{いだ}だす」(一般多用「出^{いだ}だす」的形式)接在动词连用形后组成复合词,表示开始做、做出来等意思,如「走り出^{いだ}だす」「歌い出^{いだ}だす」「作り出^{いだ}だす」等。「出^{いだ}だす」=「出^{いだ}す」。

- ⑩ **注解** 句子中的「疲弊」是指衰敝、凋敝,即枯竭,而非疲惫。
 ⑪ **注解** 这句是讲作者对人类吃昆虫的感受。



生词&例句

【イナゴ】^{いなご}【蝗】蝗虫;蚂蚱。

【あぶる】烤;晒。**注意**「あぶる」指烤的程度比较轻。

<例句> ● スルメをあぶる。⇒ 烤鱿鱼。

● 砂浜で体を日にあぶる。⇒ 在海滩上晒身子。

【甘美】^{かんび}(1) 甘美;香甜。(2) 甜蜜;美好。

<例句> ● 甘美な果実。⇒ 香甜的果实。

● 甘美な夢。⇒ 甜蜜的梦。

【佃煮】^{つくだに}熬煮海味;熬煮海产品。

<例句> ● 貝の佃煮。⇒ 熬煮海贝。

【あたり】^{あた}【辺り】大约;左右;之类;之流。

<例句> ● 次の日曜あたりには来るだろう。⇒ 大约在下星期天会来吧。

● 適任者といえば陳君あたりだろう。⇒ 要说合适的人选就应该小陈之类的人。

【イモムシ】^{いもむし}【芋虫】青虫;芋虫。

【ハードル】hurdle。(1) 跳栏；跨栏。(2) 门槛；难关；障碍。

<例句> ●ローハードル。⇒ 低栏。

- 難問解決のハードルを越えるのは容易ではない。
⇒ 跨越解决疑难问题的障碍并不容易。

なまこ
【海鼠】海參。

けい
【敬する】尊敬；敬重。

<例句> ● 敬すべき人。⇒ 值得尊敬的人。

- 敬して遠ざける。⇒ 敬而远之。

ひへい
【疲弊】(1) 疲惫；疲乏。(2) 衰敝；凋敝。

<例句> ● 財政の疲弊。⇒ 财政衰敝。

- 戦争のために国力が疲弊する。⇒ 由于战争的原因，
国力衰微。

日语难读词之角

- 下ネタ (しもねた)：下流话。

「下ネタ」は英語で何と言いますか。⇒ “下流话”
用英语怎么说？

- 懲役 (ちやうえき)：徒刑。

無期懲役に処せられる。⇒ 被判处无期徒刑。

- 運否天賦 (うんぷてんぷ)：听天由命。

運否天賦だ、とにかくやってみよう。⇒ 听凭运
气，我来试试看。